

まちのうごき

(10月1日現在)	(8月中)	
世帯数 17,192世帯	生まれた人 49人	
人口 53,089人	亡くなった人 21人	
男 26,105人	転入した人 143人	
女 26,984人	転出した人 227人	

文化資料館開館5周年記念

乙訓乃古墳文化

11月12日まで

入場無料

向日市文化資料館

向日市文化資料館の開館5周年を記念して、乙訓地方の古墳出土遺物を一堂に集め、ふるさとの古墳文化を紹介する「特別展―乙訓の古墳文化―」を、11月12日(日)まで開催いたします。

主な展示品は、筒形銅器、銅鏃(妙見山古墳)、人物埴輪(鳥羽遺跡)、三角埴輪(塚古墳)や、藤ノ木古墳の筒形埴輪に通じると思われる石製臼・杵などです。

開館は午前10時から午後5時30分まで、入館は午後5時までは、お問い合わせは、向日市文化資料館 931-1182まで。

CDで聴くファミリーコンサート

市立図書館では、この秋、モーツァルトやショパースなどのクラシック音楽を、CDによる再生で、親子で楽しむ「ファミリーコンサート」を開催します。

■日時 11月19日(日)午後2時～3時
■場所 図書館研修室
■申込み 親子30組、子供は小学生、中学生。図書館カウンターで申し込んでください。
■お問い合わせ 図書館 931-1181



初会合であいさつする民秋市長

3分科会で 具体化審議

市では、「女性行動計画」策定にあたり、幅広い分野にわたって、女性に関する施策推進についての意見を聞くため、10人からなる「女性行動計画検討調査会」を設置し、10月14日、そのスタートをきりました。

男女が共に能力を發揮できる 社会づくりに向けて

女性行動計画検討調査会
女性行動計画検討調査会は、女性の総合的な施策推進の指針となる「向日市女性行動計画」を策定するにあたり、女性に関する問題の把握と施策のあり方について論議し、その考え方を提言していただくため設置したものです。

女性に関する問題は、国際的には、昭和50年の「国際婦人年」とそれに続く、「国連婦人の10年」、また西暦2000年に向けて、女性の地位向上のための「女性行動計画」の策定へ動きだしたところとす。

10月14日市民会館で行われた、検討調査会の初会合では、藤枝清子氏を座長に決め、地域と社会参加をふまえて、マ教育・啓発マ雇用・労働マ健康・福祉の3分野に分けて、審議を進めることになりました。

調査会では、本年7月に1500人を対象に行った「女性のくらしと意識に関するアンケート」の調査結果も資料として、向日市の実情に即した提言をまとめる予定です。

調査会の委員は、左側の写真の皆さんです。(敬称略・順不同)

女性行動計画 「検討調査会」スタート

- | | |
|------------------------------|-------------------------|
| | |
| 笠田 泰介
(同志社大学教授) | 座長 藤枝 清子
(京都精華大教授) |
| | |
| 嶋田 啓一郎
(同志社大学名誉教授) | 職務代理 小林 一
(同志大知事大教授) |
| | |
| 杉原 智子
(華頂短大専任講師) | 朝倉 公子
(主婦) |
| | |
| マアリー・サンダース
(向日中学校英語クラブ顧問) | 伊藤 由紀子
(コロンビア大専任講師) |
| | |
| 吉田 賢作
(京都新聞論説委員) | 小倉 美津子
(仏教大助教授) |

'89 向日市まつり

■11月18日(土)～19日(日)■



5万人のふれあいをテーマに多彩なイベントを繰り広げる「向日市まつり」は、11月18(土)・19(日)の両日、向日町環状路一帯で開催します。

今年、テレビ子に大人気のターボレンジャーがステージに登場します。詳しいプログラムは、11月18日発行の「まつり場」で開催します。

特集号をご覧ください。



平和祈念講演 「平成時代の生き方」

■講師 ジャーナリスト 黒田 清氏
■日時 11月11日(土) 午後1時
(午後零時30分開場)
■場所 市民会館ホール 入場無料
■お問い合わせ 総務課 931-1111内線254

向日市の輝かしい未来を築くため
真の恒久平和を願うとき
今、私たちは……

プロフィール 昭和6年大阪市生まれ。京都大学経済学部卒業後、昭和27年読売新聞入社。昭和51年社会部長、「黒田軍団」の名を馳せる。昭和62年読売新聞を退社し、「黒田ジャーナル」を設立し、精力的に活動している。